

リニューアルオープン1周年企画展

大磯別邸 城山荘

たかみね のこ
— 三井高棟が遺したもの —

主催 大磯町郷土資料館

協力 株式会社久米設計

稲葉 和也

(前大磯町文化財専門委員会委員長)

平成29年10月21日(土)
～12月3日(日)

開館時間：9：00～17：00 (入館16:30まで)

休館日：10月23日(月)・30日(月)
11月1日(水)・6日(月)・
13日(月)・20日(月)・
27日(月)
12月1日(金)

入館料：無料

展示解説：10月29日(日)・11月26日(日)

※午後1：30に企画展示室集合

※30分程度の解説後、県立大磯城山公園内を解説



背景/「写真集城山荘」より 肖像写真/公益財団法人三井文庫所蔵

大磯町郷土資料館 Oiso Municipal Museum

〒255-0005

神奈川県中郡大磯町西小磯446-1

TEL：0463-61-4700

URL：<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>



■電車■JR東海道線大磯駅 徒歩約30分 ■バス■大磯駅～城山公園前 徒歩約5分
■車■小田原厚木道路 大磯インター約5分/西湘バイパス 大磯西インター約2分

大磯別邸 城山荘 たかみね のこ ー三井高棟が遺したものー

大磯の城山じょうやまには、昭和45年(1970)まで北三井家の別邸「城山荘」がありました。北三井家10代当主高棟は、明治28年(1895)からこの土地を所有し、大正12年(1923)の関東大震災によって建物が被害を受けるまでは、一家で休暇を過ごす場として使用していました。昭和8年に現役を引退した後は、震災で使用できなくなっていた建物を再建し、城山荘を終の棲家として過ごします。耐震建築の研究者である久米権九郎による設計、各地の社寺の古材をあしらった内装は、高棟のこだわりを多分に採り入れたものであり、江戸時代から続く三井家が担ってきた、日本の伝統文化を大切にしている思想を反映しています。

本展では、株式会社久米設計及び稲葉和也氏にご協力いただき、特に城山荘の建築的特徴に焦点を当てました。建築図面や写真による検証から、在りし日の城山荘を描き、高棟が何を遺そうとしたのかを考えます。

展示の構成

- 1、三井高棟と苞子もとこ
- 2、城山荘での暮らし
- 3、城山荘の建築



如庵 (『写真集如庵』より)



城山荘南側立面図 (三井文庫所蔵)



高棟・苞子夫妻 (当館寄託)



城山荘 (『写真集城山荘』より)

展示解説

担当学芸員による展示解説を行います。

日程：平成29年10月29日(日)・11月26日(日)

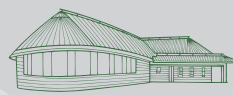
時間：午後1:30～

場所：郷土資料館 企画展示室

展示室内を30分程度解説した後、
県立大磯城山公園内を散策する予定です。
園内の散策も希望される方は、
歩きやすい服装、履物でご参加ください。



城山窯茶碗 (当館寄託)



Oiso Municipal Museum

大磯町郷土資料館